

【開 会】

皆様、ようこそ「とやま水素エネルギーシンポジウム」にご来場いただきました。
ただいまより、G7 富山環境大臣関連事業 とやま水素エネルギーシンポジウムを始めさせていただきます。

皆様、本日は大変お忙しい中、富山水素エネルギー導入促進協議会並びにとやま次世代自動車・エネルギーインフラ研究会、主催による、とやま水素エネルギーシンポジウムにご来場いただき、誠にありがとうございます。

それでは、本日のシンポジウムにつきましてご案内申し上げます。
本シンポジウムは、究極のエコカー普及に向けてと題して、15日から開催されるG7 富山環境大臣会合の関連事業として、次世代エネルギーとして近年注目されている水素エネルギーをテーマに企画させていただきました。

まず始めに、主催者からご挨拶をさせていただきます。
続いて、来賓のご挨拶を頂いた後に講演開始となります。
各回40分程度で、16：30までを予定しております。

どうぞ最後までご聴講下さい。

それでは、主催者であります富山水素エネルギー導入促進協議会 会長 山口昌広より 皆様へ一言ご挨拶させていただきます。
宜しく申し上げます。

【山口会長 挨拶】

只今、ご紹介頂きました山口でございます。
本日は、とやま水素エネルギーシンポジウムを企画しましたところ大変お忙しいところまた、ご遠方より多数のご参加を頂き有難うございます。

本日のシンポジウムの開催にあたりましては、4名の講師から水素エネルギーに関する講演を予定しております。第一部は、トヨタ自動車株式会社 技術統括部 主幹の三谷和久様から「燃料電池自動車の開発意義と水素社会実現に向けた取組」について講演を頂きます。

第二部として株式会社日本政策投資銀行 産業調査部ソリューション企画室長の田原正人

様から「金融機関から見た水素社会」と題しました講演を頂きます。

第三部は、株式会社神戸製鋼所 営業企画部 水素・燃料電池水新婦プロジェクト 担当次長の三浦 真一様から「神戸製鋼グループの水素社会実現への取組」の講演を行って頂きます。

最後に第四部として、富山大学 研究推進機構 極東地域研究センター 准教授の山本雅資様から「水素社会の実現に向けて経済学の視点」と題しました講演を頂きます。

講師の方におかれましては、大変お忙しい中講演をお引き受け頂き心より感謝申し上げます。

ご存知の通り、15日からこの富山市で環境大臣会合が開催される訳でございます。

富山は、環境先進県として地産地消エネルギーへの取組に積極的であります。

地熱や小水力のほか環境未来都市やロックフェラー財団のレジリエントシティに選定されるなど世界的に注目・評価されています。

また、次世代エネルギーとして注目を集めている水素社会への取組として、地域の皆様と一体となって協議会の取組を始めさせて頂きました。

このシンポジウムにつきましても、G7関連事業として開催する訳ございまして地域の皆様に水素ステーション整備の課題や普及に向けた国内の動きなど、より関心を深めていただければ幸いと存じます。

エネルギーと環境問題は、世界的にクローズアップされており今回の大臣会合でもその辺の話題が出てくるものと思います。

また、今回閣僚を送迎する車に、水素で走る燃料電池車を使用する事を聞いています。

協議会では、大臣会合開催中に城址公園にMIRAIを展示します。

G7でお越しの方には、ライトレールと併せて是非ご見学頂ければ幸いです。

今後とも地域の皆様と共に水素インフラ整備普及に向けて取組んで参る所存でございます。引き続きのご支援を頂きますようお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。

【司 会】

山口会長 有難うございました。

続きまして、ご来賓の富山県商工労働部長 大坪 昭一さまよりお言葉を頂戴したいと思います。

宜しく申し上げます。

【商工労働部長】

ご挨拶

【司 会】

有難うございました。

それでは、第一部の講演を始めます。

トヨタ自動車株式会社 技術統括部 主幹の三谷和久様から「燃料電池自動車の開発意義と水素社会実現に向けた取組」についてご講演頂きます。三谷様は、京都大学工学部を卒業後 トヨタ自動車工業（現トヨタ自動車）に入社され生産技術をご担当され1996年に(株)テラ・コーポレーション代表取締役として蓄熱 燃焼バーナー開発などを手掛けられました。2007年にトヨタ自動車 FC技術部（現在のFC技術開発部）主幹に就任され2012年から先進技術統括部に所属され国内水素インフラ整備の推進に携わっていらっしゃいます。

それでは、三谷さま宜しく申し上げます。

三谷様 有難うございました。

（時間があれば）

折角の機会ですのでご質問を受けたいと思います。

挙手にて宜しく申し上げます。

【休憩】

三谷様 有難うございました。

ただいまより休憩を挟みたいと思います。

14：10から第二部を開始いたします。

お時間までにお席にお戻りください。

【第二部】

それでは、第二部の講演を始めます。

株式会社日本政策投資銀行 産業調査部ソリューション企画室長の田原正人様から「金融機関から見た水素社会」についてご講演頂きます。

田原様は、東京大学を卒業後日本開発銀行に入行され産業・技術部課長、日本政策投資銀行では企業金融第1部課長、事業開発部課長、業務企画部課長を歴任され現在は産業調査部ソリューション企画室長兼業務企画部担当部長に就任されています。

それでは、田原様 宜しく申し上げます。

田原様 有難うございました。

(時間があれば)

折角の機会ですのでご質問を受けたいと思います。

挙手にて宜しく申し上げます。

【休憩】

田原様 有難うございました。

ただいまより休憩を挟みたいと思います。

15：00から第三部を開始いたします。

お時間までにお席にお戻りください。

【第三部】

それでは、第三部の講演を始めます。

株式会社神戸製鋼所 営業企画部 水素・燃料電池推進プロジェクト担当次長の三浦 真一様から「神戸製鋼グループの水素社会実現への取組」の講演を頂きます。三浦様は、東京大学工学部を卒業後 筑波大学大学院のシステム情報工学研究科で構造エネルギー工学を専攻され工学博士でいらっしゃいます。

神戸製鋼所で、化学プラントの設計・プラント建設を経験されプラントプロセス開発部門を経て、エネルギー・水素の貯蔵・利用に関する研究開発を手掛けられ。2007年より水素ステーション関連の技術開発に携わっておられます。機械事業部門開発センター商品開発部次長も兼任され東京都の水素戦略会議委員でもいらっしゃいます。

それでは、三浦様 宜しく申し上げます。

三浦様 有難うございました。

(時間があれば)

折角の機会ですのでご質問を受けたいと思います。

挙手にて宜しく申し上げます。

【休憩】

三浦様 有難うございました。

ただいまより休憩を挟みたいと思います。

15：50から第四部を開始いたします。

お時間までにお席にお戻りください。

【第四部】

それでは、第四部の講演を始めます。

富山大学 研究推進機構 極東地域研究センター 准教授の山本雅資様から「水素社会の実現に向けて経済学の視点」と題しました講演を頂きます。

山本様は、民間企業勤務を経て慶應義塾大学 経済学研究科を修了。経済学博士でいらっしゃいます。現在は、富山大学で環境問題を扱う「環境経済学」を専門として研究を行っていらっしゃいます。 それでは、山本様宜しくお願いします。

山本様 有難うございました。

(時間があれば)

折角の機会ですのでご質問を受けたいと思います。

挙手にて宜しくお願いします。

【閉 会】

ありがとうございました。全てのプログラムが終了しました。

皆様、講師の方にもう一度盛大な拍手をお願いいたします。

長時間にわたってご静聴いただき大変ありがとうございました。

本日は、皆様からのご質問を受けるお時間が無く大変申し訳ございませんでした。

シンポジウムへの感想やご質問につきましては、アンケート用紙にご記入の上、お帰りの際に職員にお渡し下さい。

以上をもちまして、とやま水素エネルギーシンポジウムを閉会いたします。

ありがとうございました。お気をつけてお帰り下さい。